

ホームページ作成上の基本的な注意点

●閲覧者への親切心を忘れずに！！

年齢や障害の有無等にかかわらず、誰にも見やすく、使いやすく、解りやすいホームページを、タイムリーに提供するという考え方で作成する。

●見やすく

文字サイズは、大きく、12pt ぐらい。

ページの横幅に注意、横に長いページとなると見づらくなる。

ページの画面下には、余白を持たせる。

●使いやすく

ホームページのページからページへ自由に移動出来るようにする。

ページが縦長になってしまったときは、ページの一番上へ一気に上げられるリンクをページの下に張る。

●解りやすく

誰にでも解りやすく、難しい単語や専門用語は補足説明をする。

●タイムリーに

ホームページをより積極的に活用していくために、会員の立場に立って、会員の求める最新の情報を迅速に提供するとともに、不要になった情報は速やかに整理（削除）することを常に心がける。

●原稿を書くときの基本

5W1Hを念頭に入れ、文書構成（起承転結、三段論法、演繹・帰納法、弁証法）で纏める。情報は独り歩きするため、誤字・脱字・てにをは に注意する。[\(複数人で作成後のチェックをする\)](#)

固有名詞は、原則、正式名称とする。

1つの文はなるべく短く、50字ぐらいまでとする。

1つの段落は5文ぐらいまで。

主語と述語を呼応させる。両者をなるべく近づける。

1つの文の主語は、なるべく1つに限る。

修飾語を長くしない。切り離して文を2つに分ける工夫をする。

修飾語と被修飾語は近づける。

「複文」はなるべく避ける。※述語がふたつある、「花の咲く春が来た」の類。

二重否定は避ける。

不要な接続詞は避ける。

同じ言葉の繰り返しは避ける。

原稿の文章に敬語は不要。丁寧語で書けばよい。

本文内の文字には、太字、色塗りは不要。閲覧者に重要な部分かどうかは判断させる。

ホームページ内の文書の書式体は、統一性、一貫性を保つ。

●編集の留意点

見る要素を多くして、見ることから読むことへのアプローチを考える。

写真やイラスト、図表など、視覚に訴える表現を多くする。

写真のサイズ、配置を揃える。

文字ばかりギッシリ詰めたページは、まず読まれない。

行間は、適度に開ける。

●使用する文字の注意

インターネットには多種多様なコンピュータが接続されており、文字コードの割り当て方にも色々な種類がある。ローマ数字を1字にデザインした文字や、マルつき数字（輪のなかにアラビア数字が配置されている文字）など、よく見かける記号のなかにも機種によって互換性がないものがある。

また、半角のカタカナは、UNIX系の機種では表示されないだけでなく、インターネット上の他のコンピュータを誤作動させる可能性があるがあるので、使用してはいけない。

●**ホームページの表示確認**

ホームページの見え方は、閲覧する人のコンピュータやブラウザの種類やバージョン、設定によって違ってしまふ。

ホームページを作ったら、必ずプレビューで確認する。より多くの人に閲覧確認をしてもらおうと良い。

●**ページのデータ量をなるべく少なくする**

写真のデータ量が多いものは、縮小する。

PDFデータは、Excel 及び会報等のメモリの大きな資料とする。

●**アクセス数を増やすには**

ホームページの全てのページに「タイトル」をつけると、各ページも検索対象となり、アクセスも増える。タイトル名は、検索されたいキーワード名をよく考えて付ける。

音声読み上げソフトへの対応といったアクセシビリティに配慮し、画像等には、代替テキストを入力する。

代替テキストも検索対象となる。

●**著作権法を守る**

他のウェブサイト・雑誌等に掲載されている地図、写真、イラスト等の流用は多くの場合、著作権法に触れるので、十分に注意する。

インターネット上に存在する主な著作権

1. 書籍の中の文章やホームページに掲載している文章（引用を除く）など

2. 肖像権（タレントや芸能人の写真やテレビのキャプチャ画像）

特に有名人の写真は肖像権が認められているため、ホームページに勝手に写真を載せたりすることはできない。載せる場合は、本人の承諾が必要である。また、有名人ではなくとも、個人の写真を本人の許可なく掲載してはいけない。

●**プライバシーを守る**

ホームページには、個人情報である住所、電話・FAX番号、メールアドレスなどは、原則、非表示とする。なんらかの必要からインターネット上に個人情報を発信するときには、それによって生じる利益だけでなく、発生する可能性のある不利益にも配慮する習慣をつける。

事前に本人の了解なしに、その顔や容姿などを撮影し、その写真をホームページなどで公開すると、肖像権の侵害として訴えられ、損害賠償を請求される可能性があるので注意する。未成年者の場合は、保護者の承諾もとらなければならない。

本人からホームページに掲載された個人情報について訂正の申し出があったときは、事実を確認したうえで、適正に対処する。また、削除の申し出があったときは、原則として速やかに削除する。

●**リンクについて**

リンクをする場合や、画像を使用する場合は、リンクのトラブルを避けるために、そのサイトの管理者に事前に連絡を取る。

外部のウェブサイトリンクを張る場合は、リンク先の内容が適切なものかどうか注意する。リンク時には適正であっても、時間が経つにつれ、内容が変わることもあるから、折に触れてリンク先サイトの内容確認を怠らないようにする。

（原則：シニア大学関連及び校友会以外とのリンクはしない）

以上

11 期校友会HP制作担当 渡辺 哲夫